



国営造成土地改良施設整備事業鬼怒川南部地区完了式が行われました。

平成25年3月4日に農林水産省が整備を進めてきた国営造成土地改良施設整備事業鬼怒川南部地区の完了式が来賓、地元関係者出席のもと勝瓜頭首工操作室にて行われました。

勝瓜頭首工は、昭和44年に国営農業水利事業で造成されましたが、河床低下に伴う護床工の沈下や老朽化による導流壁の損壊など、頭首工本体が大変危険な状況となっていました。

そのため、農林水産省が事業主体となり平成21年度から工事に着手し、4年の工事期間と約23億5千万円の事業費をかけて、勝瓜頭首工の補修、更新を行ってきました。

完了式では、狩俣関東農政局次長が挨拶した後、安楽利根川水系調査管理事務所長から事業経過の報告が行われ、続いて、来賓の井田真岡市長、塩原茨城県農地整備課国営事業推進室長からそれぞれ祝辞がありました。

また、地元を代表して鬼怒川南部土地改良区連合の柴山理事長より「関係者の皆様のおかげにより工事が完成し深く感謝申し上げます。今後は安心して取水が出来るとともに、維持管理の負担軽減が図れる。」と謝辞があり、完了式が終了した。



挨拶する狩俣農政局次長



祝辞を述べる井田真岡市長



謝辞を述べる柴山理事長



関係者による記念撮影